



動物園からの手紙

[324]

50年のあの日、161日を思い起こして

開園50周年を迎える今年、今は、夏期開園までの完成を目指して、動物図録と開園50周年記念誌の編集、校正に追われています。

消えようとしていた名もなき地方の動物園が、全国的に知られる動物園になり、100万人以上の来園者を迎えるようになったこと。旭山動物園を目指して多くの外国人が訪れていること。

日々の連続として見ると気が付きにくいことですが、私が働き始めた30年前と比べると、これが本当に同じ動物園なのかと感じてしまいます。アジアゾウ、マルミミゾウ、ローランドゴリラ、ウオンバット…今よりもずっと多くの種類



マルミミゾウのナナと坂東園長(平成9年撮影)

の動物がいたのに、「つまらない、金食い虫」といわれ廃園の危機を迎えていたあの時代…。
 餌代を工面できなくて、パン工場にパンの耳などを頂いていたこと。1万円の修繕費がなく、職員の工夫で乗り切

っていたこと。野鳥の剥製をもっと臨場感のあるものにしたいと、園内の枝ぶりの良い木を切り剥製を枝に止めたら、園長室に呼ばれ、園内に2本しかない貴重な木の1本を切ったと大目玉を食らったこと。エキノコックス症の発生で風評被害が凄まじく、バーサースキー大会で開園ののぼりを持って10kmを走り、春には市内の幼稚園や旭川駅前で動物の着ぐるみを着て「旭山動物園は今年も開園します！」とチラシを配ったこと。アジアゾウのアサコが倒れ、使えない体操マットがあつたら下さいと小学校に片っ端から連絡をし、トラックで走り回ったこと。今思うと全てのことが今につながっているのだと気がきます。

今年、動物園のあるべき姿を目指し、さらに一段高みに登りたいと決意しています。夢は逃げ水、常に追い付けないのは分かっています。でも、今は未来のために。未来の今日、振り返って後悔しないために、今を積み重ねていきたいと思えます。

建設工事等の入札参加資格追加審査の申請

市 平成29・30年度に市(水道局を含む)が発注する建設工事等の入札参加希望者(既同29・30年度の資格がある方でも、登録業種を追加する場合は申請が必要)

受付期間 5月18日(木)～31日(水)、8月18日(金)～31日(水)、11月17日(金)～30日(木)、来年2月15日(木)～28日(水) 午前9時～午後5時
 他詳細は市に掲載
 届契約課 25・9701、水道局経営企画課 24・3171

空き家住宅の除却費を補助

困不良空き家と判定され、周辺に被害をもたらすおそれのある住宅の除却工事
 ※補助決定前に契約・着工した工事は対象外。
 補助額 対象工事費の3分の1(上限30万円)

補助総額 90万円
 他事前調査や審査あり。詳細は市に掲載
 申 4月19日(水)～5月31日(水)に建築指導課 25・8561

街路灯電気料金の補助申請

困町内会などの団体が維持管理している、街路灯の電気料金補助額 支払った電気料金の2分の1以内
 受付期間 5月15日(月)～27日(土)(17日(水)・20日(土)・21日(日)は除く)

他申請方法等の詳細は、5月上旬